



# よい子 つよい子 できる子

新井小学校たより 5月号

平成 28 年 5 月 27 日

HP アドレス <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/arai-s/>

## 運動会を終えて

校長 川住晴彦

先日の運動会には、保護者・地域の皆様に多数ご参観いただき、本当にありがとうございました。PTA役員の皆様におかれましては、お手伝いいただきましたことに厚く御礼申し上げます。

さて、応援団の結団式から始まった今年の運動会。朝、6年生を中心とした応援団3~4人が教室を回って応援練習をしました。初めは声がうまく出ません。応援歌もそろいません。しかし、真剣に練習を重ねるにつれて、子どもたちに一体感が高まっていくのを感じました。

当日は、その成果を発揮し、自分の出番でなくても友達にエールを熱く送る姿が見られました。高学年の係り活動も本当によくやっていました。高学年の頑張りがあったからこそ、運動会は成功したのだと思います。

今年は、新井中学校の生徒が競技に参加してくれて、運動会を盛り上げてくれました。さらに、学生服に身を包んだ応援団が、それはそれは見事な「応援」を披露してくれました。その姿に目が釘付けになった小学生にとって、目指すべき身近な大人、あこがれの先輩として心に焼き付いたことでしょう。

紹介できませんが、他にも様々なドラマのあった運動会でした。運動会を通して、日常ではなかなか感じ得ない大きな感動を覚え、努力することの大切さ、仲間と協力し合うことの大切さを学ぶことができました。これは子どもたちの成長にとって意義のあるものです。運動会を振り返り、自分のよさと仲間のよさを認め合い、今後に生かしていくってほしいと考えています。

最後に保護者と地域の皆様へのお願いです。下校後や休日の自転車の乗り方についてです。「一時停止はもちろんせず、スピードも落とさずに道路に飛び出してきた。」「通行人がいるにもかかわらず、歩道を複数で競走のように走っている。」など、子どもたちの危険な様子をお知らせいただいている。学校では、その都度、指導をしているのですが、なかなか徹底できないというのが悩みです。

○家庭では：わが子の自転車の乗り方を把握し、友達の保護者とも情報交換して指導する。

○地域では：危険な乗り方や交通ルールを守らない姿を見かけたら、注意・指導する。

教えてやらなくては、時には叱ってやらなくては身に付かないことがあるのです。「地域の子どもは、地域で育てる。」の言葉のとおり、生命の危険にかかわることですから、家庭や地域でも厳しくも温かい指導をお願いします。

# 今年度の職員研修

## 〈研究主題〉

### 問題の発見・解決に向けて主体的に学ぶ子どもの育成～1年次 進んで話す子にする～

当校の子どもは、言われたことや与えられたことに対しては、誠実に取り組もうとする良さがありますが、「自主性、自発性、自律性」を一層高めることが課題の一つです。

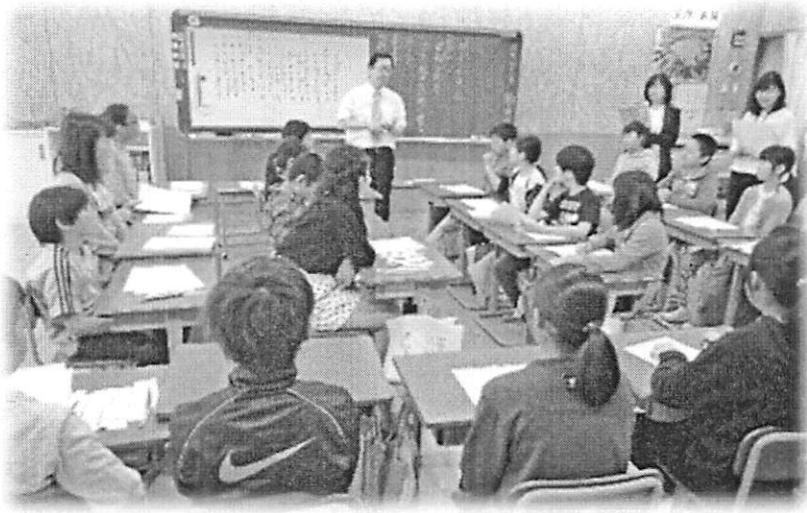
そこで、今年度は、「自分から進んで話す」子どもを育てたいと思います。一部の子どもの発言だけで進む授業から、多くの子どもが進んで話す授業にしていくことで、「授業は自分たちが主体であるのだ」という感覚を育てたいと思います。

「主体的・協働的な学び」の第一歩として、「進んで話す」ことを取り上げることにしました。

## 1 「話したくなる授業」を作る（授業研究）

「問題意識、目的意識を生ませるにはどうしたらよいか」「自分の考えをもたせるには・自分の考えに自信をもたせるにはどうしたらよいか」などを考えて、教員全員が授業を公開します。

4月は、まず川住校長が6年1組で国語の授業をしました。段落の順番を入れ替えた文章を正しく並べ替えるという課題でした。自分が正しいと思う順番の根拠、他の意見（順番）がおかしいと考える理由を進んで話す子どもたちの姿を見て、問題意識のもたらせ方や子どもの意見をつなげる教師の態度・話術を学び、職員は大いに刺激を受けました。



運動会が終わった5月下旬にも、3人の教師が授業を公開します。

## 2 自分たちで、よりよい学級にしていくための学級会の充実

子どもが「学級の問題」を見付け、議題化し、子どもたちだけで話し合いを進め、決定できるようになります。1年生でも、子どもの司会で学級会を進められるように、議事の進め方をシートにして持たせます。

「自分たちの力で」「自分たちが決めた学級目標に近づくような」イベントや取組、係活動を話し合うことは、進んで話そうとする態度に結び付くと考えています。

## 3 自信をもって話せる能力（スキル）をつける指導（日常指導）

新井中学校区の全小中学校で共通に取り組む「話す力3つのポイント」を意識させます。

- ①大きな声ではっきりと話す
- ②相手の顔を見て話す
- ③意見があったら進んで話す

話型指導、口型・滑舌指導（早口言葉）、スピーチ指導、群読などで楽しみながら大きな声を出させる指導などにも取り組みます。